

# 原村から世界へ アルパ奏者 河瀬歩佳さん



南米各地で親しまれている民族楽器「アルパ(=ハープ/スペイン語)」の奏者 河瀬歩佳さん(18歳、原山区在住)が、昨年12月に開催された第10回全日本アルパコンクールで金賞を受賞しました。

4歳の時にアルパの生演奏を聴いたのをきっかけに、8歳頃から本格的にアルパを習い始めた河瀬さん。

日本を代表するアルパ奏者 上松美香さんを恩師に持ち、12歳の時にはアルパの本場パラグアイへ短期留学した経験があります。現在では、高校を辞しプロのアルパ奏者として各地で開催されるコンサートや演奏会等に出演されています。

**問** 金賞受賞おめでとうございます。会場の様子や受賞された時の気持ちをお聞かせください。

**答** 色々な演奏会に出させていただいて自信をつけて臨んだはずが、本選ではとても緊張しました。年々レベルが上がっていて、受賞経験のある方も出場されていたので結果が全く予想できませんでした。

受賞した時は、初めて認められたという達成感と、ここまで支えて下さった色々な方々に感謝の気持ちでいっぱいでした。

**問** アルパを演奏する上での苦労や、楽器の魅力を教えてください。

**答** アルパは楽譜がない楽器です。先生やプロの方の演奏を耳で聞いて覚えますが、私は初めて触った楽器がアルパだったので全く抵抗はありませんでした。楽譜を必要としないため曲のアレンジがとても自由で、演奏者によって何通りもの表現があり、100人いれば100通りの演奏になるところが魅力です。

現在河瀬さんは、アルパ世界大会への出場に向けて調整を行うと同時に、インストラクターの資格を獲得し師事活動も始められています。7月には八ヶ岳美術館での演奏会も予定されていますので、ぜひ足を運んでみてください。



# ルディック・ウォーキング講座



ルディック・ウォーキング講座は毎月第一土曜日に実施されている定例イベントで、村が作成した「八ヶ岳森の小径原村散策マップ」を基に季節ごとの山野草などを楽しみながら散策する講座です。自分の体力に合わせて様々なコースを選択することができます。マップを活用して、全コースのクリアを目指してみても楽しいですね。

2月6日に行われた講座では、樫の木荘からエコーライン付近にかけての眺望の良いエリアを散策し、15人程の参加者は、6.9kmの道のりを歩きました。残雪によりところどころ路面が凍結していましたが、暖かな日差しのおかげで清々しいウォーキングが楽しめました。

# コミュニティ助成事業 ペンション区 防災備品を整備

ペンション区自主防災組織は、(公財)長野県市町村振興協会が行うコミュニティ助成事業(地域防災組織育成助成事業)を受けて、小型動力消防ポンプや消防用ホース、リヤカー、携帯型無線機、防災テントなど災害対応の備品を整備しました。



コミュニティ助成事業とは、地域社会の健全な発展を図るため、宝くじの収益金を原資として、自治会などのコミュニティ組織が行う活動に必要な備品や設備の整備に対して助成を行うものです。

ペンション区長は、「ペンション区自主防災組織も防災倉庫の完備、防災備品の整備、防災訓練など、防災環境も整ってきました。地域区民として自主防災の意識を高め、さらに自助、共助の連携で災害被害の軽減と防止に努めたい」と話されました。

# 健やかな成長を願って 第81回 原村誕生会(後期)

2月2日、原村誕生会が開催され、平成27年4月2日～9月30日までに生まれたお子さんの誕生を祝いました。この日は、対象者29組(男12名、女17名)のうち、26組の親子が出席し、五味村長は、出席した親子ひとりひとりと話をしながら記念品を手渡しました。子どもの健やかな成長を願い、記念品には、図書館でお勧めする9冊の中からそれぞれが選んだ1冊が「ファーストブック」として入っており、図書館利用カードや図書袋と一緒に贈られました。



# 豆まきで健康祈願

2月3日、保育園とあひるクラブで節分行事が行われました。保育園では、手作りの鬼のお面を被った年中児が鬼の役になり、紙で作った豆をまいて楽しみました。途中、突如現れた大人の鬼に驚いて、泣き出す園児や必死に豆を投げて追い払う園児で一時騒然となりました。最後には福の神が現れて、園児たちにプレゼントを渡し健康を願いました。

また、あひるクラブでは、色画用紙を使った「きり紙おに」作りに挑戦しました。ハサミで切りこみを入れる部分が多く、子どもたちは保護者と一緒に真剣に取り組んでいました。お面が完成すると早速かぶって走り回ったり、我が子の可愛い姿を写真に収めようとする姿が見られました。



# 冬の図書館講座

2月6日、冬の図書館講座が開催されました。この日は講師に日達れんげさんをお迎えし、切り絵プリントを行いました。専用の紙を切り絵と同じ要領で切り、作った切り絵をアイロンで布に張り付けると完成です。実際に切ってみると、紙をカッターで一度に切るのが難しく、1つの切り絵を完成させるのに苦労しているようでした。参加者は自分の名前をプリントしたりしてオリジナルの小物づくりを楽しみました。→



# 社明運動作文コンクール表彰式



1月29日、第65回社会を明るくする運動作文コンクール入賞者の表彰式が行われました。県表彰が小池嶺花さん(原小6年)に伝達され、村長賞が奥山蓮さん(原小6年)、野明愛結さん(原小6年)、平出愛奈さん(原中2年)に贈られました。

